

# 介護予防・日常生活支援総合事業の実績

～ 令和2年度の実績～



枚方市 健康福祉部  
地域健康福祉室  
健康増進・介護予防担当

# サービス事業の実績 【令和2年度】

(件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問型	予防訪問事業	1,357	1,325	1,299	1,349	1,327	1,335	1,367	1,332	1,351	1,325	1,343	1,327
	生活援助訪問事業	147	135	136	135	140	147	146	153	153	150	158	153
	活動移動支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院等移動支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型	予防通所事業	1,393	1,212	1,048	1,341	1,391	1,311	1,342	1,404	1,414	1,352	1,293	1,299
	教室型通所事業	0	0	0	0	0	3	5	5	2	1	1	2
その他	リハ職訪問通所指導事業	0	0	0	0	3	6	8	8	5	4	3	5
	リハ職行為評価事業	3	2	12	6	7	4	8	11	6	1	5	9
	栄養士派遣指導事業	1	1	1	5	5	6	3	5	3	2	1	1
介護予防ケアマネジメント		1,581	1,438	1,552	1,532	1,546	1,450	1,588	1,535	1,567	1,537	1,524	1,513

## サービス事業の実績

(件数)

		平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度
訪問型	予防訪問事業	9,492	19,004	17,650	16,037
	生活援助訪問事業	462	1,360	1,723	1,753
	活動移動支援事業	1	0	0	0
	通院等移動支援事業	8	9	5	0
通所型	予防通所事業	9,504	19,621	18,592	15,800
	教室型通所事業	41	71	59	19
その他	リハ職訪問通所指導事業	112	92	68	42
	リハ職行為評価事業	110	127	88	74
	栄養士派遣指導事業	33	48	87	34
介護予防ケアマネジメント		12,114	22,678	20,913	18,363

## 生活丸ごと応援事業（試行的実施）

- 要支援高齢者等の心身機能、住環境の特徴を評価分析し、掃除行為などを生活活動の運動として実施できるよう、リハビリテーション専門職や看護師、訪問介護員や福祉用具専門相談員等の専門職がチームで訪問指導を行う事業として創設するため試行的に検証事業の実施（実績：27件）

平成27年度に介護予防訪問介護のサービス内容の分析を行った結果、「掃除」の支援が61%であったため、掃除行為に着目した事業として試行的に実施（平成30年度4件、令和元年度3件）

在宅生活において課題となるのは掃除行為だけに限らないことから、地域ケア会議における地域課題を踏まえて、令和2年度から在宅生活全体を支援する内容に見直しを行った。

# 生活支援員養成研修の実施

開催年月	修了者数
令和2年5月	0人
令和2年6月	0人
令和2年7月	0人
令和2年10月	8人
令和2年11月	11人
令和3年2月	0人

新型コロナウイルス感染予防により、令和2年5月、6月、7月及び令和3年2月は開催中止

令和3年4月1日現在、生活支援員として活動している研修修了者82人

## 【生活支援員養成研修修了者数】

平成28年度：299人

平成29年度：219人

平成30年度：144人

令和元年度：110人

令和2年度：19人 合計：791人

# 介護予防ケアマネジメント

- 一人ひとりの自立支援を考え、サービスのマッチングではなく、基本チェックリストを活用し、地域資源も含めた様々な資源から支援している。
- 自立支援型地域ケア会議を活用し、社会資源の開発、協力機関（介護保険事業所等）の拡充に努めている。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
65歳以上人口	109,455人	111,148人	112,311人	113,445人
高齢化率	27.1%	27.58%	27.97%	28.4%
要支援認定者数	7,119人	7,519人	6,886人	6,994人
ケアプラン件数	49,326件	47,819件	47,230件	36,595件

# 介護予防事業の実績

名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ルディック・ウォーク講座	845人・88回	1,634人・91回	1,580人・84回
exeR9（エクサルク）教室	4,846人・245回	3,981人・222回	1,806人・236回
高齢者健康づくりプロジェクト	345人・7回	371人・8回	0人・0回
元気はつらつ健康づくり事業	1,287人・74回	1,134人・68回	107人・8回
地域元気づくり教室	268人・14回	386人・18回	54人・4回
ご近所運動教室	1,227人・95回	1,291人・85回	56人・14回
こころの健康からだの健康まつり	1,473人・1回	1,088人・1回	1,135人・1回
健活フェスタ	858人・1回		
ここから介護予防教室	2,184人・120回	4,391人・192回	336人・24回

※ 平成29年度は「健活フェスタ」という名称は使用せず、屋外イベントをモデル実施  
令和元年度から、新型コロナウイルス感染予防のため講座・教室等の中止あり。

# ひらかた元気くらわんか体操の実績

	実施グループ数
平成27年度	6
平成28年度	59
平成29年度	178
平成30年度	192
令和元年度	295
令和2年度	301

週1回以上、集まって「ひらかた元気くらわんか体操」を取り入れた介護予防活動を実践しているグループ数・47





# ひらかた元気くらわんか体操の実績

名称	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体操マスター教室	396人・23回	348人・21回	0人・0回
体操普及リーダー養成講座	106人・9回	144人・6回	134人・9回
体操普及リーダーフォローアップ講座	15人・1回	39人・1回	20人・1回
体操出前講座	479人・29回	273人・19回	26人・2回
体操スタート支援講座	348人・30回	358人・10回	0人・0回
体操継続支援講座	320人・17回	274人・20回	54人・7回
体操実践グループ交流会	80人・1回	※	※

※ 令和元年度から、新型コロナウイルス感染予防のため講座・教室等の中止あり

# 介護予防ポイント事業 (生き生きマイレージ) の実績

登録施設数	101か所（令和元年度99か所）  【内訳】 特別養護老人ホーム 21か所、デイサービス 48か所 グループホーム 13か所、介護老人保健施設 6か所 子ども食堂等 8か所、有料老人ホーム 5か所
サポーター登録者数	360人（令和元年度361人）
サポーター活動回数	351回（令和元年度4,205回）

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、活動回数が激減

平成30年度から「生きがい創造学園」のカリキュラムにサポーター養成講座を組み込み、講座修了者がサポーターとして活躍できる仕組みづくりを構築したが、令和元年度から新型コロナウイルス感染防止のため講座開催中止

# 高齢者居場所づくり事業の実績

## 登録数：116か所

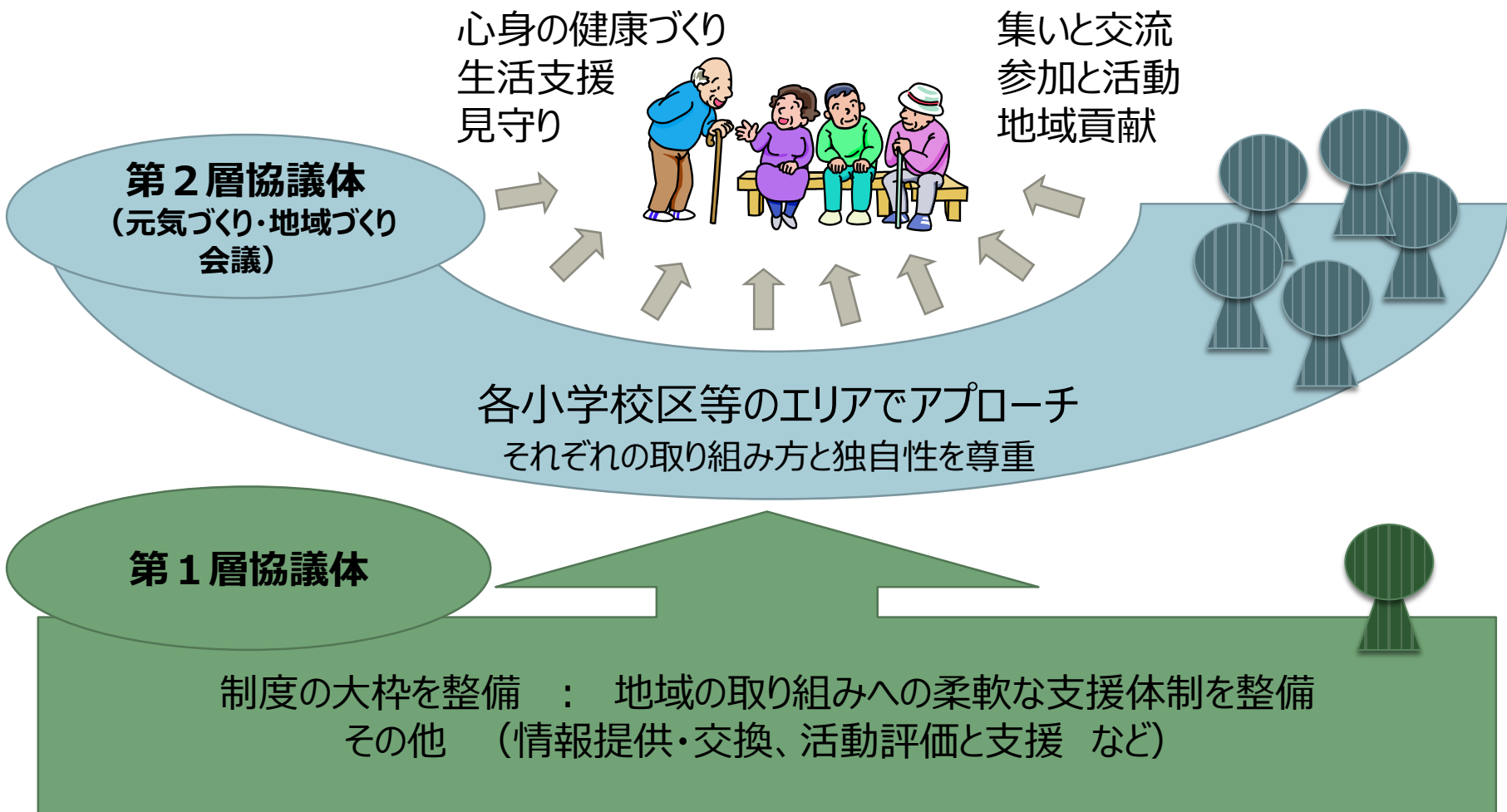
延べ利用者数	31,788人 (令和元年度：102,751人)
実人数	2,605人 (令和元年度：6,019人)
延べ開催回数	3,393回 (令和元年度：7,016回)

## 過年度

	平成29年度	平成30年度
登録数	51か所	101か所
延べ利用者数	18,211人	82,010人
実人数	—	5,312人

日常生活圏域	小学校区	件数
第1圏域	樟葉北、樟葉、樟葉南	10
第2圏域	樟葉西、牧野	6
第3圏域	船橋、招提、平野、殿山第二	9
第4圏域	小倉、西牧野、殿山第一、磯島	11
第5圏域	高陵、交北、山田、山田東、中宮北	10
第6圏域	桜丘、桜丘北、中宮、明倫	6
第7圏域	蹠跏、蹠跏西、蹠跏東、伊加賀	5
第8圏域	山之上、枚方、枚方第二	13
第9圏域	香陽、香里、開成、五常	10
第10圏域	春日、川越、東香里	13
第11圏域	菅原、西長尾、長尾	3
第12圏域	田口山、藤阪、菅原東	6
第13圏域	津田、津田南、氷室	14

# 協議体の役割（イメージ図）



# 第1層協議体の構成団体

## ■ 地縁組織（地域活動団体）

民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会

コミュニティ連絡協議会、校区福祉委員会協議会

## ■ 職能団体等

介護支援専門員連絡協議会、デイサービス連絡協議会

訪問介護事業者会、通所・訪問リハビリテーション連絡協議会

特別養護老人ホーム施設長会、社会福祉協議会

## ■ 関係主体等

シルバー人材センター、大阪高齢者生活協同組合

特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点

# 第1層協議体の内容

年月	内容
令和2年12月	介護予防・生活支援事業等の実績報告について 課題抽出シートの共有と検討について コロナ禍における介護予防の取組みについて
令和3年3月	第2層協議体事務局事務及び元気づくり・地域づくりコーディネーター事務委託契約について 報酬改定について

※ 新型コロナウイルス感染予防のため書面開催

# 元気づくり・地域づくりプロジェクト

- 元気づくり・地域づくり第2層協議体は、45の小中学校区のうち42校区で設置

## 【それぞれの地域での取組例】

- ◆ 居場所づくりの推進
- ◆ 支え合い・助け合い活動の創設
- ◆ 体力測定やウォーキングなど校区全体イベントの開催など

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、大半の活動が延期や中止となった。

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
津田	高齢者居場所（ほっこりクラブ津田・福寿会）の運営と「ほっこり新聞」の発行	ひらかた元気くらわんか体操の継続 コロナ禍で集まることができないため、新聞で感染予防対策や活動状況等を周知	
菅原	体操の継続実施とくらわんかウォークズの周知	定期的なひらかた元気くらわんか体操の実施 コロナ禍で居場所がなくなったため、くらわんかウォークズを案内し、ノルディック・ウォーキングを広めた。	
氷室	既存活動に元気づくり活動を追加	既存活動の自粛が続く中、11月にひらかた元気くらわんか体操とタオル体操を実施	
田口山	情報収集アンケートと感染拡大予防の周知	コロナ禍における健康維持の情報収集アンケートを実施し、結果を広報誌で周知 感染拡大予防のポスターを作成	
津田南	体力づくり・元気づくり活動の実施	食堂や教室の開催は自粛 毎週小学校での開催するグランドゴルフは10月から再開	



# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
菅原東	コロナ禍における元気づくり・地域づくり	家の中でできる能活・運動のチラシを全戸配布、家の中を歩いて床掃除できるようモップ付きスリッパを配付、屋外（公園）で定期的に体操を実施	
藤阪	ひらかた元気くらわんか体操の拡充	屋外（広場と集会所横）で月2回ずつ、ひらかた元気くらわんか体操を実施	
西長尾	ひらかた元気くらわんか体操を広め、元気な地域づくり	集会所の外でひらかた元気くらわんか体操を継続、くらわんかウォークスとしてルディック・ウォーキングを開始 小学校体育館でのカーリンコンを継続	
桜丘	ルディック・ウォーキングの啓発	自治会館で自治会員以外にも開放してもらうよう働きかけ、ルディック・ウォーキング講座を開催	
山田	老人会活動と連携	各老人会の活動を共有、介護予防の取組みの効果的な推進に向けた検討	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
明倫	生活支援コーディネーターの活動周知、宮ノサポの運営支援	商店街がコーディネーターという先進事例を活かし、府や他市での事例発表 宮ノサポでルディックポールの無料貸出と宮ノサポの運営支援	
殿一	ウォーキングイベントの開催、居場所の設置検討	コロナ禍でウォーキングイベントを中止	
高陵	既存活動の充実と文化交流	コロナ禍でひとり暮らし老人会は公園でお弁当を配付して健康体操を実施、児童と地域ボランティアと高齢者が交流しながらさつま芋収穫	
交北	既存活動の充実	自治会や老人会などの様々な活動に体操等を取り入れ元気づくり活動として承認し、情報共有	
中宮	助け合い活動創出にむけたアンケート調査、活動の仕組みとマニュアル作成	先進事例の活動紹介と意見交換、アンケートで活動に賛同された方々への説明、活動の手引きの作成 屋外で体操とグラウンドゴルフの実施	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
小倉	高齢者居場所の運営	コロナの影響で集会所での高齢者居場所の開催はできなかった。	
磯島	世代間交流も含め「歩こう会」の開催	新型コロナ感染拡大のため中止	
桜丘北※	街かどデイハウスお試し開放デーの実施	新型コロナ感染拡大のため中止	
中宮北	既存活動に介護予防を追加	ふれあいサロン等の既存活動に介護予防の講座等をあわせて実施	
山田東	コロナ禍における活動検討	新型コロナ感染拡大のため元気づくり・地域づくり活動は自粛	

※桜丘北校区では、コーディネーターは選出されていない。協議体で検討したことを、会議構成団体が役割分担しながら実施している。

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
枚方	うたごえサロン、歴史散策の開催	月1回「うたごえサロン」を開催（緊急事態宣言中等は除く）と歴史散策のウォーキングイベント開催	
枚二	高齢者居場所づくり（枚二みつば）の実践	3か所で3つの取組みで開催している居場所は、コロナ対策のため全回中止	
蹉跎	シニア料理教室とみんなで歌おう会の開催	令和2年度実施に向けて準備をしていたが、コロナ感染予防のため中止	
香里	老人会等での体操の導入、青パトでの見守り、居場所の運営	活動時に「ひらかた元気くらわんか体操」を実施、青パトを活用した高齢者見守り活動、居場所ほっとカフェの運営	
開成	ひらかた元気くらわんか体操の普及活動と校区全体イベントの開催	4つの地区で元気づくり講座（ひらかた元気くらわんか体操等）の開催と、歩こう会等の介護予防イベントはコロナで中止	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
春日	各自治会の取組み内容の把握と課題の検討	取組みに参加して、実施内容と課題を把握し、自治会会員以外の参加方法等を検討	
山之上	介護予防支援センターの開催	コロナ禍で活動休止 コロナ対策・熱中症予防のチラシを個別配布、手紙や電話による安否確認を実施	
香陽	おたすけメイトの運営と元気づくり教室の開設	ストレッチや筋トレのチラシを全戸配布 困りごとを支援するボランティア制度の運営と教室開催による介護予防グループづくり	
蹉跎西	元気づくり体操の実施	ひらかた元気くらわんか体操や演歌体操、脳トレ等を実施、飲料の提供廃止に向けマグボトルの配布	
川越	地域サロンで「ひらかた元気くらわんか体操」を実施	7か所で毎月開催している地域サロンの2か所を分割し、9か所でひらかた元気くらわんか体操を実施した。コロナ感染拡大時は一部の活動のみ実施	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
蹉跎東	既存活動の充実	自治会や老人会の既存活動を共有し、意見交換。グラウンドゴルフ大会などを企画するもののコロナで中止	
東香里	高齢者居場所でひらかた元氣くらわんか体操の実施	月2回開催している「Vタイム」(高齢者居場所)内で体操を実施、Vタイムの運営支援	
伊加賀	既存活動に運動をプラス	ふれあい交流会や世代間交流など、他の活動時にも運動や体操を取り入れて実施	
殿二	元氣づくり事業と地域づくり事業の実施	黄金世代のグランドチャンピオン表彰の実施 消費者被害拡大防止のため、見守り活動従事者による啓発 生活困窮世帯からの夜間・休日の支援要請に対する食料品等の提供体制の構築等	
樟葉	高齢者居場所の運営	公民館カフェ以外に高齢者居場所を新たに2か所開始予定がコロナで延期 3か所目の高齢者居場所開設に向け準備会を設置	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
招提	まちなかカフェの運営、医療等との情報交換体制の構築	「まちなかカフェ」(3か所で各々月1回)の運営とイベントはコロナにより開催中止 地域の環境改善について関係機関に働きかけた。	
樟葉南	高齢者居場所の活動支援、ひらぽの普及	居場所で活動するボランティア派遣、感染症予防対策の現状把握と意見交換 ひらぽの説明会の開催及び申請方法等のチラシ回覧	
樟葉西	マスク・防護服づくり、喫茶・カフェ等の活動支援と樟西ポイント事業の実施	手作りマスクを小・中学校等へ寄付 小学校のトイレ掃除で着用する防護服の作製し、トイレ掃除の体験 喫茶やカフェ等の活動を支援し、健康づくりのための樟西ポイント事業を継続実施	
西牧野	居場所・健康づくりの推進とお助け隊の充実	居場所の運営支援と自治会単位でのお助け隊の名簿と派遣の体制づくり	
樟葉北	高齢者居場所の実施と健康づくり活動の推進	週1回、高齢者居場所の実施と小学校や集会所を活用した健康講座を開催	

# 取組み実績 (令和2年度報告抜粋)

校区	プラン内容	実施方法	備考
船橋	グラウンドゴルフとカーリンコンの活動支援	毎週実施しているグラウンドゴルフの活動と月1回小学校体育館で実施しているカーリンコンの活動を支援	
平野	スポーツ以外の機会をつくる	くらわんかウォークーズを募集し、120日チャレンジの案内 小学校で定期的に実施していたグラウンドゴルフとカーリンコンはコロナで中止	





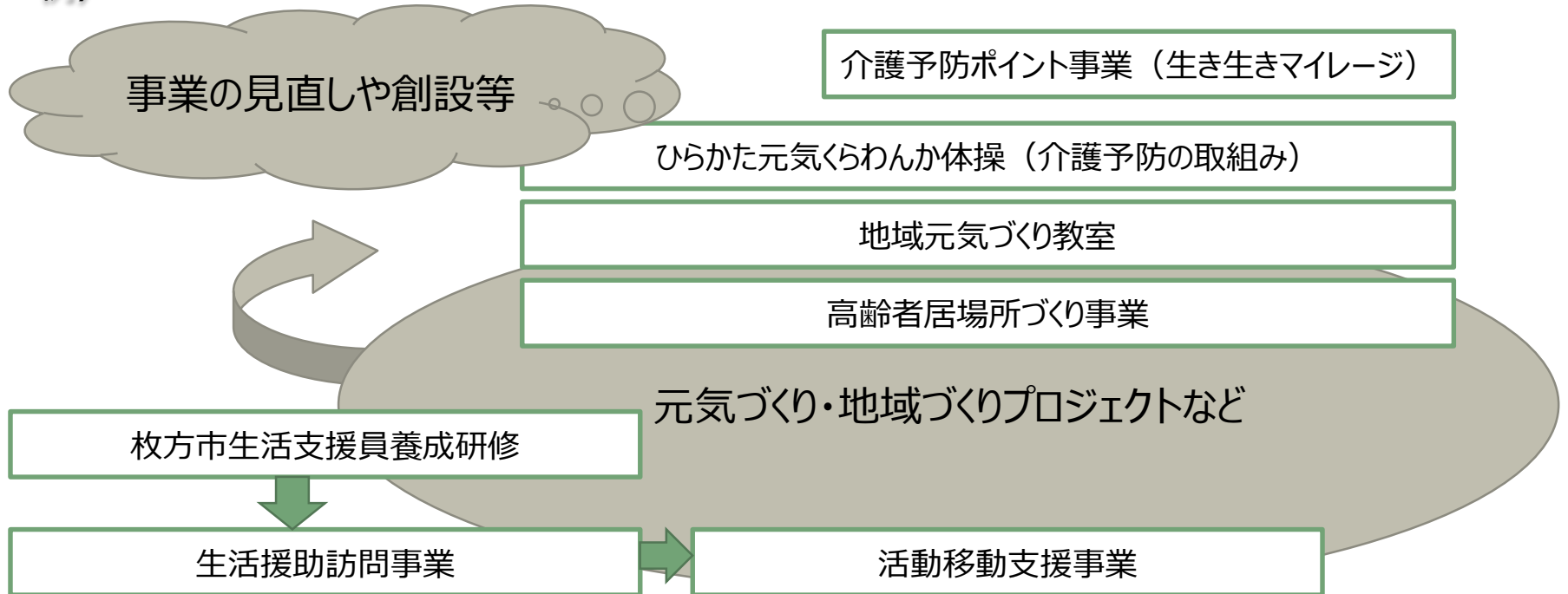
# いきいきと活動できる仕組みづくり

就労・起業支援

活動・仲間づくり

居場所づくり（参加）

例)



様々な事業の見直しや創設により、高齢者がいきいきと活動できる仕組みを創る。

# 地域で自分らしく暮らす

